

授業科目名	スポーツ文化論		授業形態	講義	授業科目区分	専門科目 (応用科目)		
担当教員名	田里 千代				補助担当者名			
単位数	2 単位	履修年次	2年次		受け入れ人数	-		
授業の概要	「スポーツ文化」や「文化としてのスポーツ」の意味合いを、「スポーツ文化複合」の視点から読み解く方法を理解する。また、スポーツを文化的事象と捉える視点と考え方について学ぶ。歴史的背景もふまえながら現代のスポーツ文化の事象と関わらせて理解する。加えて、現代社会における文化としてのスポーツの価値をどのように見出していくことができるのか、自ら問題を発見し解決に導くための思考力を身につける。							
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標			成績評価の方法				
	D Pで 目指す 資質・ 能力	専門的な知識・教養  (問題発見のために知識を総合的に活用・応用するし、課題解決に取り組むことができる。)	授業期間				定期 試験	割合 %
			授業	テスト	レポート	発表		
	認知的領域	文化としてのスポーツの多様なあり方について理解できる。						50
	情意的領域	スポーツと文化に関わることに興味を持ち、問題を発見する「気づき」の力を身につけることができる。						25
技能的領域	自分の考え方を他者に理解できる文章にまとめる思考力と文章力を身につけることができる。						25	
成績評価の基準	授業時の小レポートと発表、試験から総合的に評価する。							
テキスト、教材 参考書	テキスト『「ひと・もの・こと・ば」で読みとくスポーツ文化論』(田里千代・渡邊昌史編著)大修館書店 主な参考引用文献は、『よくわかるスポーツ人類学』(寒川恒夫編著・杏林書院)、『よくわかるスポーツ文化論』(井上俊、菊幸一編著)、『知るスポーツ事始め』(石井隆憲・田里千代編著・明和出版)など。							
履修条件・ 関連科目		備考(教員メッセージ含む)	日々、新聞を読むこと。スポーツに限らず社会の様々な事象に興味、関心を広げること。集中できる身体で受講すること。					
オフィス・アワー								
授業計画								
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)			
1	田里 千代	スポーツ文化とはなにか(スポーツ文化複合という考え方)						
2	"	スポーツ文化複合という考え方の理解			参考引用文献の該当箇所を読む。(15分)			
3	"	スポーツの社会文化(ルールと審判の例から)			参考引用文献の該当箇所を読む。(15分)			
4	"	スポーツの技術文化(スポーツ用具・用品の例から)			スポーツ文化複合に関する資料収集(30分)			
5	"	スポーツの精神文化(社会貢献の例から)			スポーツ文化複合に関する資料収集(30分)			
6	"	スポーツの空間文化(実践空間と観戦空間の例から)			スポーツ文化複合に関する資料収集(30分)			
7	"	スポーツ文化複合の総合的な理解(グループごとにポスター作成)			グループごとにポスター作成(60分)			
8	"	スポーツ文化複合の総合的な理解(グループ発表)			グループごとに発表準備(60分)			
9	"	スポーツ観戦の文化			参考引用文献の該当箇所を読む。(15分)			
10	"	スポーツする身体の文化			参考引用文献の該当箇所を読む。(15分)			
11	"	神ごと/祭ごととしてのスポーツ			参考引用文献の該当箇所を読む。(15分)			
12	"	神から人としてのスポーツへ			参考引用文献の該当箇所を読む。(15分)			
13	"	遊びとしてのスポーツ文化(多様な意味合いのスポーツ)			参考引用文献の該当箇所を読む。(15分)			
14	"	「価値ある」スポーツ文化への転換(その文化的仕掛け)			参考引用文献の該当箇所を読む。(15分)			
15	"	みんなのスポーツ文化となりえるか			参考引用文献の該当箇所を読む。(15分)			
16	"	試験			授業全体の復習(60分)			